

小千谷市

誰もが笑顔で安心して
暮らせる持続可能な
未来づくりに、市民総参
加で挑む大作戦



人口 32,602人 面積 155.19 km²

都市の特徴

豪雪地の雪解け水が育む、自然と文化が息づく田園都市。国魚「錦鯉」発祥の地。精密機械工業や食品製造などが盛んである。市民に息づく自治・利他の精神によって、新潟県中越大地震からの復興を成し遂げている。

小千谷市
OJIYA CITY

みんなの一步で、
SDGsな未来
づくり大作戦！

人口減少による働き手不足や空き家の増加、耕作放棄地による里山の環境悪化など、経済・社会・環境の三側面での課題が生じている。そのため、二地域居住の制度構築や空き家の有効活用、生活と調和した里山整備などを推進するほか、「未来づくりアンバサダー」の声かけ作戦により、着実な広がり市民総参加を目指す。

01 「未来づくりアンバサダー」声かけ作戦

自発的にまちづくりに関わる市民等の「未来づくりアンバサダー」による未来づくりのためのワンアクションや周囲への声かけなどによって、市民総参加のまちづくりを推進する（登録者数220人：2025年8月末）。行政との情報共有を通じて意識の醸成と参加者の増加を図るとともに、持続可能なまちづくりに向けた草の根活動の定着を目指す。

未来づくりアンバサダー
登録者増加中！



02 二地域居住の実証事業

民間人材・事業者の知見や地域活性化起業人・地域創造アドバイザーなど国の制度を活用し、市内に拠点を置きながら首都圏で働く二地域居住の可能性を調査・実証する。
自然と調和した暮らしと首都圏へのアクセスの良さを活かすべく、実証事業を通じて課題と支援策を整理し、交流人口の増加と定住促進につなげる。

二地域居住の可能性
をリサーチ中



03 空き家の有効活用と事前対策の研究

空き家を地域資源
にチェンジ！



人口減少により空き家が増加する中、空き家を放置せず資産として有効活用することは、地域の安全安心はもちろん、移住者の受入による地域活性化につながる可能性がある。

また、空き家になる前に、不動産の専門家などからアドバイスをいただき、家族で活用方法を考えるなど、事前対策を研究することで、空き家を増加させない方策を検討する。

04 里山整備によるシビックプライド醸成

市民有志が里山の再生
に取り組んでいます



市民協働によって里山の環境や景観を整備し、魅力の再生とシビックプライドの醸成を図る。
かつて牧場やスキー場として利用されていた「山本山」は、近年人の手が入ることが少なくなっていた。その里山を再生するため、市民や団体・企業等と連携し、自然を活かした四季折々の魅力を創出して価値を高めるとともに、里山再生ストーリーを広く発信することで市民の郷土愛を醸成する。

各取組の
詳細はこちら

取組01・03
そのほかの取組



取組02



取組04



インタビュー

Interview



（左）地域力創造アドバイザー
堀口 正裕 さん

（右）小千谷市長 宮崎 悦男 さん

01 市民とともに、まちの未来づくりに挑戦！

小千谷市長 宮崎 悦男 さん

当市は、起業・創業支援等による産業育成、二地域居住の推進や空き家対策等による多様で安全安心な社会づくり、里山の環境整備などの施策の連携によって好循環を生み出し、誰もが笑顔で安心して暮らすことのできる持続可能なまちを目指しています。その根幹となるのが、この「未来づくりアンバサダー」による声かけ作戦です。
未来づくりアンバサダーからの声かけをきっかけに、市民・団体・企業・行政などのステークホルダーが連携しながら、それぞれができる一歩＝未来をつくるワンアクションを市民総参加で取り組むことにより、誰にとっても暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めます。

02 二地域居住の可能性を探る

地域力創造アドバイザー（株式会社第一プログレス 代表取締役） 堀口 正裕 さん

地元出身者をはじめ若い世代の関係人口が、錦鯉や小千谷縮といったまちが誇る地域資源の新たな市場を切り拓こうとしています。中越大震災を乗り越えた市民の結束力や100年以上続く老舗企業の存在が地域の強みとなっており、関係人口と事業者の連携にも期待が高まります。
今後は二地域居住を含む多様な暮らし方の可能性を探りながら実践を進め、交流と協働を深める拠点として、小千谷ならではの新しい関わり方を提案していきたいと考えています。

地方での多様な暮らし方を
応援します



今後の展望

「未来づくりアンバサダー」を中心に、市民・団体・企業など多様な主体がまちづくりのためのワンアクションを起こし、みんなで未来を作っていく。
また、アンバサダーによる周囲への声かけや情報発信によって、参加者の拡大と活動の活性化の好循環を生み出すとともに、関係者による定期的な情報共有やリアルな交流の場を通じて、理念の浸透とまちづくりの機運を高めることで、成果につなげていく。

そのほかの
取組小千谷に帰っておいでよ！
声かけ作戦

地元を離れて首都圏などで頑張っている人に、「いつか故郷に戻っておいでよ！」と市民から声をかけてもらう作戦である。

子育てするならダンゼン
小千谷！声かけ作戦

トッレベルの子育て支援を用意し、「子育てするなら小千谷がいいよ！」と市民から声をかけてもらう作戦である。

みんなで地域医療を守ろう！
作戦

市民の安全安心な暮らしに欠かせない地域医療を、市民が上手に利用することで、みんなで守って維持していく作戦である。

